

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立川口高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校の置かれた状況や生徒の実態を把握し、目指す学校像が明確になるよう一本化するなど、昨年度見直しが図られた。生徒・保護者からの期待やニーズに十分応え、課題の解決に向けた方向が分かりやすいものとなっている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の取り組むべき方向が、「組織的な学力向上」など三つの柱として設定されている。目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき課題が明確かつ具体的に示されており、日々の教育活動の指針となっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	全分掌主任を学校評価運営委員会の委員に加えるなど、重点目標の達成に向けた組織体制が強化された。今後は、中長期的な視点に立って学校改善が継続的に進められるよう、学校の課題を組織的に解決するためのワーキンググループを設置するなど、更に組織体制を整備していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	現状に基づき、評価項目の達成に向けた具体的な方策が適切に策定されている。授業改善に向けた取組が進められており、今後は、外からの刺激を受けながら、取組が継続するようシステムの構築に取り組んでいただきたい。	
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は課題解決に向けて率先垂範して取り組み、学校経営の方針が教職員に浸透している。校長のリーダーシップが的確に発揮され、教職員が授業改善に向けて取り組んでいるが、外部の先進的な取組を取り入れるなど、組織的に進められると更に良い。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒・保護者対象のアンケートなどを実施し、評価項目の達成状況を検証するための情報収集が行われている。評価指標を基とした評価項目の達成状況の検証を適切に行い、次年度の取組につなげており、スパイラルアップが図られている。	
特記事項			